

こんなサービス
あったらいいな

多様なニーズに応える

リフォーム三光サービス
熟練の技で好評
障がい者雇用にも尽力

●本社/福岡市早良区田隈3
●設立/1990年4月
●従業員/140人

衣服のサイズや形を補正するリフォーム、衣服を全く別のものに作りかえるリメイク、衣服の破れやほつれを直すリペアを中心に事業展開している。レザージャケットをバッグに変身（リリメイク）させるなど、その熟練の技は得意先や顧客から高い評価を得ている。

同社は宮崎高志社長(35)の父が創業した紳士服オーダー専門店が倒産したため、今の業態で再起をはかっ



た。ところが、出店していたスーパーの閉鎖に伴い2、3か月間営業ができずピンチに。2度の危機を乗り越えられたのは、従業員や得意先の協力があつたからだという。現在は耳の不自由な人たち30人も雇用し、障がい者雇用にも尽力している。皆、能力は高く、将来的には100人に増やしたいと意欲をみせる。本社工場のほか、福岡県内を中心に九州で計34店舗。4年前に服のリフォームリメイク専門スクール「縫工房」を開校し、人材育成にも力を入れている。宮崎さんは、「愛着のある服を『お直し』で長く使っていたら良かった。また、障がい者の雇用で社会貢献もできれば」と話している。

ナチュラル
ビジネスモデル独自に構築
かつらを適正価格で

●本社/福岡市博多区住吉3
●設立/2006年5月
●従業員/7人



オーダーメイド、抗がん剤の副作用に対応した医療用などのかつらを開発・製造・販売している。比較的購入しやすい金額で、しかも、各人にマッチした製品を届けたい。世の中の役に立ちたい。そんな小野郁夫社長(53)の思いが新たなビジネスモデルの創造につながった。

約美容室は全国に60か所。今後、100か所に増やす方針だ。

かつらをインターネットで販売する事で、店舗の運営費・人件費などの固定費を削減。現在の価格が実現した。また、かつらは会社と提携している美容室で受け取り、そのまま好みの長さにかットするという形態により、サービスの品質も保っている。さらに、自然に見えるカットなどの技術指導を行い、レベルアップを図っている。同社との契

は中国の工場で委託生産（OEM取引）を開始して、事業規模も拡大。中国・北京在住の邦人に技術供与し、「ナチュラルブランド」で販売する計画も進んでいる。福岡県の新生活産業施策について、小野社長は「新ビジネスに取り組みる方向性」に共感できる。心強い」と話している。

ディスプレイジャパン
有望市場・体験型ギフト
自ら実地調査を行い厳選

●本社/福岡県久留米市津福本町
●設立/2008年1月
●従業員/1人



体験型ギフトが多数紹介されているカタログ

「DJギフト」のブランドで体験型ギフト販売事業を手がけている。結婚式の引き出物に使われるカタログギフトはよく知られているが、こちらのプレゼントはモノではなく、「体験」。例えば、カタログを贈られた人は野生のイルカウォッチングや乗馬、洞穴巡りなどを体験できる。約20年前にイギリスで生まれ、体験・経験という言葉の目新しさがある。市場の拡大が見込まれている。

こうした動きに反応したのが代表の案納伸介さん(29)。地元的地ビール醸造に携わっていたが、たまたま、テレビの特集で当時26歳の若者が起業したことを知り、高校の同級生、石井康裕さん(28)に声をかけて事業に乗り出した。現在、

提携企業は約120社、体験プランは九州限定で約240種類。当初はギフト掲載を企業に頼みに行ってもなかなか理解されなかったこともあるという。提携の際は自ら実地調査を行い、おもしろさを体験する。案納さんは「福岡県から人材支援、事業の開発資金援助を受け、大いに助かっている」と話す。

サムライト
起業後も新事業に挑戦
パソコンで介護予防

●本社/福岡県大野城市旭ヶ丘2
●設立/2009年12月
●スタッフ/20人

子育て中に覚えたパソコンが面白く、8年前にパソコン5台、生徒7人でパソコン教室をスタートさせた。公民館の利用や、自作チラシの制作、町の回覧板活用などで徹底的にコストを削減。低額な月謝を実現した。生徒さんは主婦やお年寄りを中心に延べ



1200人に及ぶ。パソコン教室の他、教室の増加に伴い必要となったスタッフの養成や、シニア向けの教室・講演会・セミナーの開催など、事業の幅を拡大し、個人事業を会社組織にまで発展させている。社長の光岡真理さん(46)は、そのパワーの根源は「主婦のバイタリティーと学生時代に剣道部で鍛えたがんばり精神」と話す。2009年からは新たな事業展開としてiPadを利用した「脳の若返り教室」を開き、介護予防の可能性を探っている。「平面版をなぞるタブレット機能はお年寄り向き。コミュニケーションを取りながら、新しいモノに触れることは認知機能の向上につながるのでは」と自信を見せる。